



投資量に対する施工力確保の考え方

2022年10月26日
沖縄電力株式会社

- 当社は、過去実績の投資量より施工可能な投資量を推定し、規制期間の投資量をその範囲内に収まるか確認しております。
- 主要9品目を単独で評価した場合、「変圧器」と「遮断器」以外については過去5年の最大投資量を下回っているため、第1規制期間における投資量に対する施工力は問題ないと考えております。
- 「変圧器」と「遮断器」の施工力については、次スライドで説明いたします。

① 鉄 塔

過去5年最大 **45基**  規制期間最大 **10基**

② 送 電 線

過去5年最大 **80km**  規制期間最大 **34km**

③ 地中送電ケーブル

過去5年最大 **26km**  規制期間最大 **22km**

④ 変 圧 器

過去5年最大 **8台**  規制期間最大 **17台**

⑤ 遮 断 器

過去5年最大 **6台**  規制期間最大 **12台**

⑥ コンクリート柱

過去5年最大 **5209本**  規制期間最大 **4864本**

⑦ 配 電 線

過去5年最大 **675km**  規制期間最大 **588km**

⑧ 地中配電ケーブル

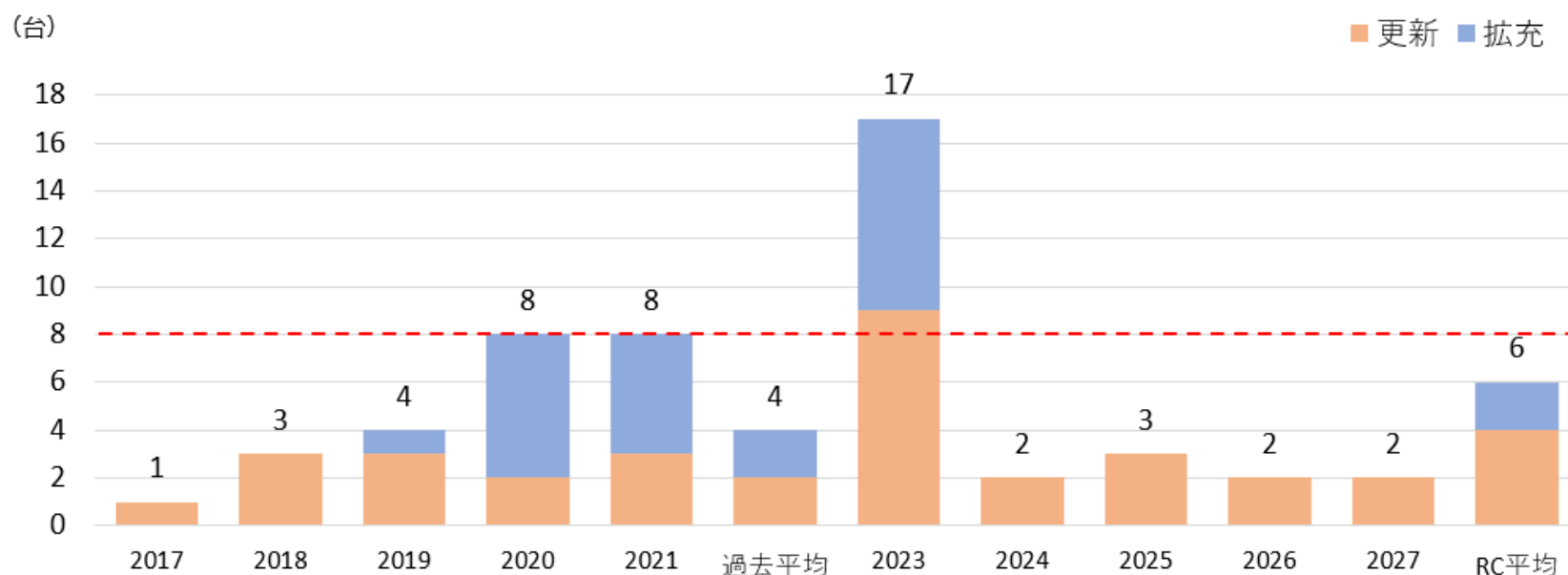
過去5年最大 **31km**  規制期間最大 **26km**

⑨ 柱上変圧器

過去5年最大 **5900台**  規制期間最大 **5720台**

- 変圧器の投資量に対する施工力について、過去5年分の実績より、最大8台／年に対し、第1規制期間は最大17台／年と過去実績を上回っております。

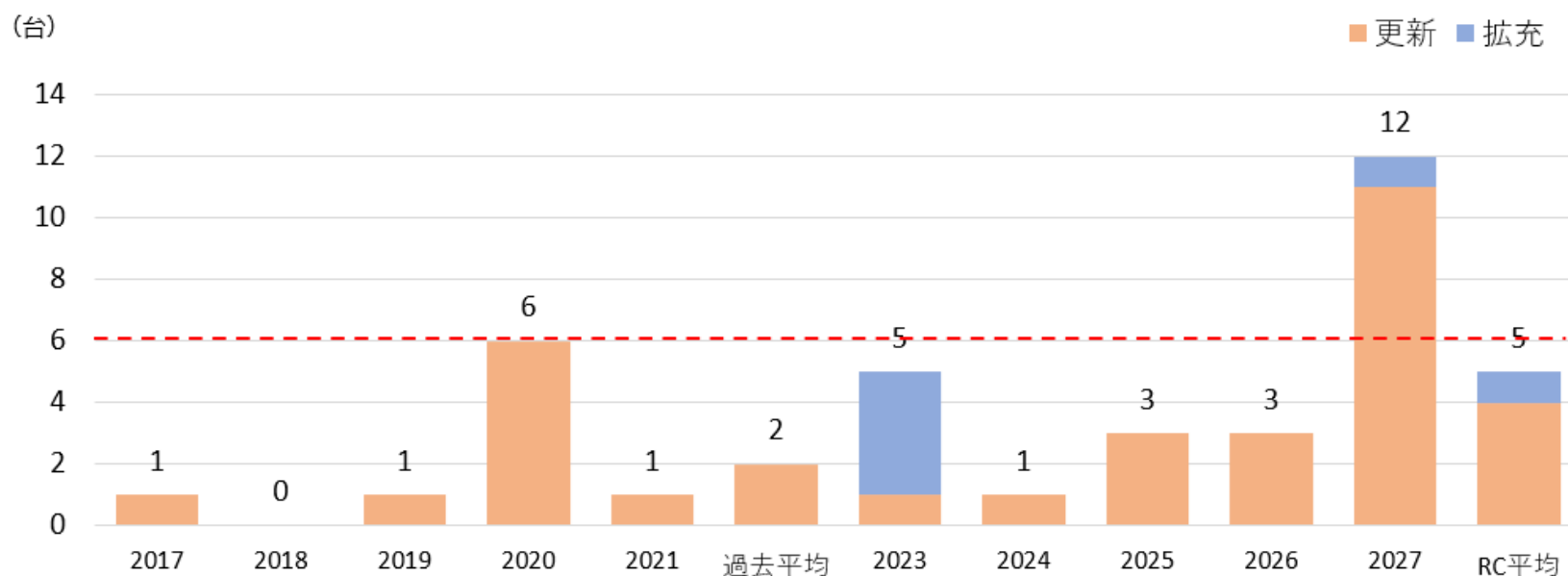
沖縄電力 – 変圧器 –



※資料_CAPEX(連系線・基幹系統、ローカル系統、配電系統)における投資量に対する施工力の妥当性の検証結果について
P115より再掲

- 遮断器の投資量に対する施工力について、過去5年分の実績より、最大6台／年に対し、第1規制期間は最大12台／年と過去実績を上回っております。

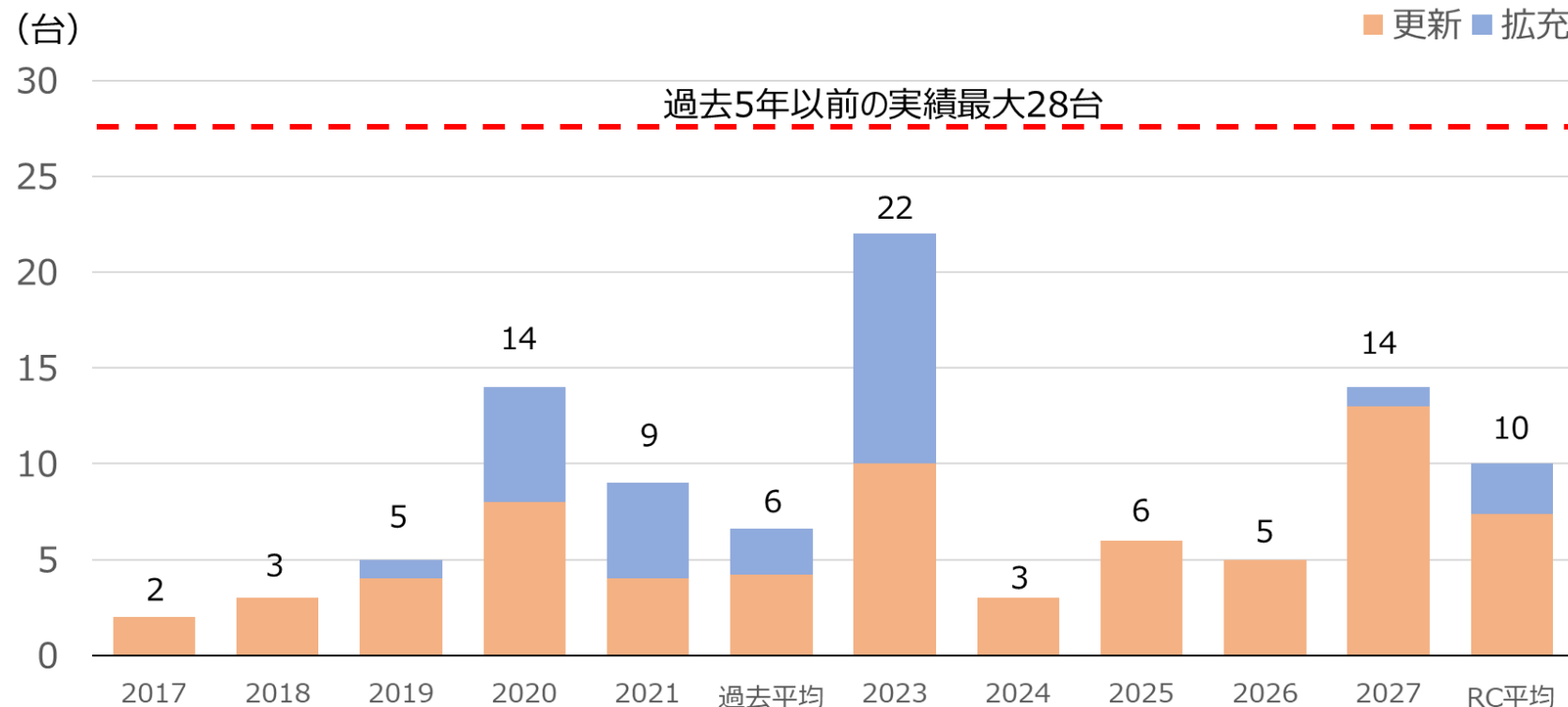
沖縄電力 - 遮断器 -



※資料_CAPEX(連系線・基幹系統、ローカル系統、配電系統)における投資量に対する施工力の妥当性の検証結果について
P116より再掲

- 変圧器と遮断器の工事業者は両方の施工が可能のため、変圧器と遮断器を別々に考えるのではなく一体として考え、「変圧器＋遮断器」の投資量に対する施工力について評価しました。
- 過去5年以前の実績より、最大28台／年に対し、第1規制期間は最大22台／年と過去実績を下回っており、施工力は確保できると考えております。

沖縄電力 －変圧器＋遮断器－



- 2019年度から架空送電電工確保に関する会議を関連会社および送電工事会社各社と開催し、電工確保に関するより効果的な取り組みについて検討を行っており、①待遇の改善、②作業の平準化、③休日確保および④労働環境の改善をテーマに、離職防止および新規採用に努めています。
- 上記の取り組みによる効果については、顕著な増加は見込めていないものの、年数人の採用を継続しており、更なる人財の確保を目指し、取り組みを進めています。
- 最近では、工業高校生を対象に職業体験イベントを実施し、送電電工の作業に直接触れることで認知度向上を図っています。



ミニドローンによる点検操縦体験

職業体験イベント 送電電工「LINEMAN」



がいし装置取り外し作業見学



高所作業車昇降体験